



競輪補助事業の概要について

1. 事業の目的

「全国の障害者施設クラスター発生事例を目にし、当法人利用者様・職員・近隣施設の皆様に苦しい思いをさせたくない」との理事長の思いを受け、ハート飛山絆館・ハート二宮そうそう長沼体育館を会場とし、7月13日より10月2日まで約3か月にわたり、新型コロナウイルスワクチン（モデルナ社製）の職域接種事業を実施いたしました。

当法人関係者、近隣福祉施設・事業所関係者、取引企業の皆様、そして地域の皆様を対象としたこの事業は、公益財団法人 JKA の「新型コロナウイルス緊急支援整備事業（競輪補助事業）」の助成を受けたことで会場が整備されました。

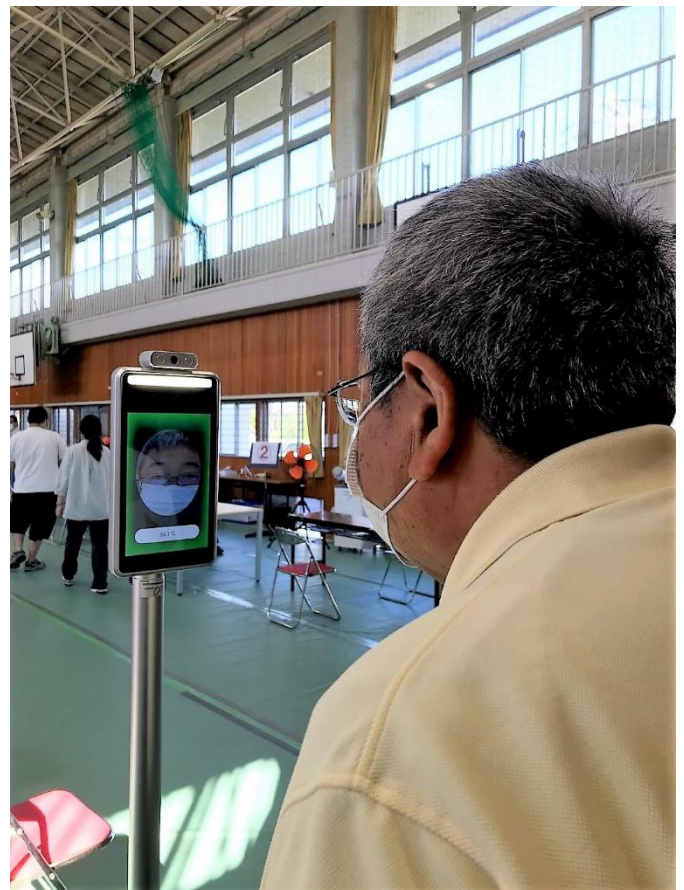
2. 実施内容及び事業実施効果

| | |
|-----------|--|
| 非接触式検知器 | 接種会場入口に設置することで、 感染防止（安全）対策の強化と効率化を図ることができました。 |
| 自動手指消毒器 | 接種会場入口等各所に設置することで、 感染防止（安全）対策の強化と効率化を図ることができました。 |
| 折り畳みベッド | 接種時の安心感の提供や接種後の体調変化に対応できました。 |
| 卓上パーテーション | 対面での事務処理が必要な場所に設置することで、 感染防止（安全）対策の強化と効率化を図ることができました。 |
| 保冷バッグ | ワクチンを適正に解凍保管することができました。 |
| 冷風機 | 会場内各所に設置することで、接種会場内の気温を快適に保つとともに、換気対策にもなりました。 |

上記機器等を導入できたことで、より安全で効率の良いワクチン接種会場を整備し、安心してスムーズな職域接種に努めることができました。

また、近隣地域関係者と協同し、地域としてコロナ課題に取り組むことができました。

非接触式検知器



自動手指消毒器





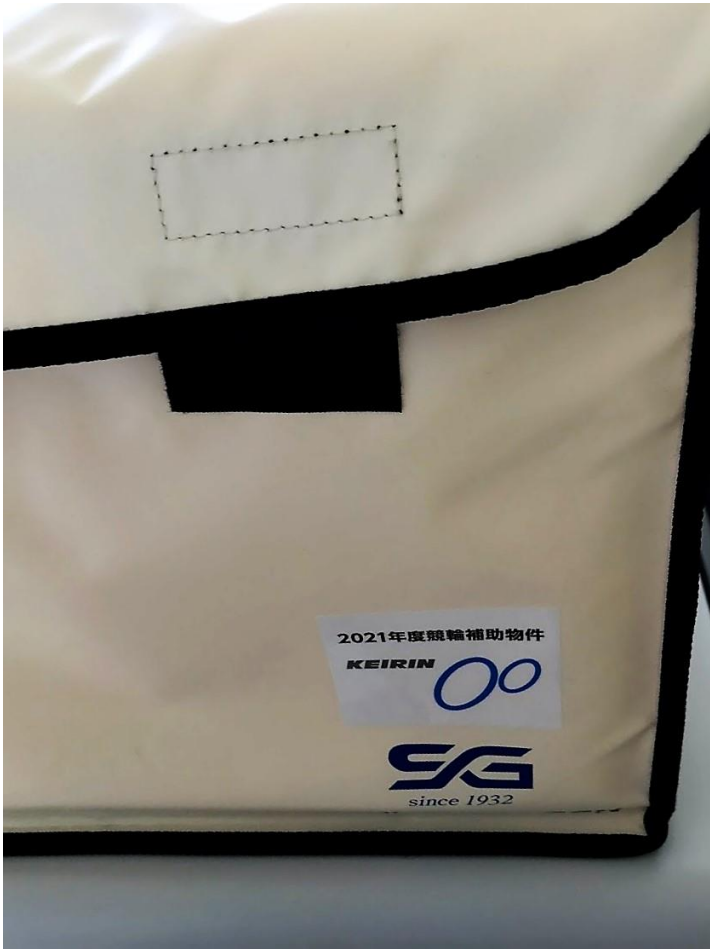
折り畳みベッド



卓上アクリルパーテーション



保冷バッグ



冷風機



職域接種会場の様子

